

2021 春季生活闘争・妥結情報

2021.5.10 ー第13号ー 連合北海道 春季生活闘争本部

2021 年春季生活闘争 第5回回答集計結果について

連合本部は、2021年春季生活闘争につき、5月6日（木）午前10時時点で取りまとめた回答集計について、次のとおり発表した。

○賃上げ要求組合、妥結組合ともに昨年同時期を上回る。

月例賃金改善を要求した5,361組合（昨年同時期比688組合増）のうち、3,111組合（同175組合増）が妥結し、賃上げ要求・妥結ともに昨年同時期を上回った。妥結内容が確認できる2,006組合のうち48.6%が賃金改善分を獲得し、98.6%が定昇相当分を確保した。

○賃上げ額が明確に分かる中小組合の賃上げ率は、今次闘争最高に。

平均賃金方式で回答を引き出し、賃上げ分が明確に分かる1,213組合のうち、組合員数300人未満の中小組合（763組合）の賃上げ分は1,379円・0.57%で昨年同時期と同等、かつ、率は全体（0.56%）を超えるとともに、今次闘争では最も高い結果となった。

○有期・短時間・契約等労働者の賃上げは、一貫して一般組合員を上回る。

加重平均で、賃上げ額は時給21.88円・月給4,442円、引上げ率は概算でそれぞれ2.13%・2.03%となり、今次闘争では一貫して一般組合員（平均賃金方式）を上回っている。

○「働き方の見直し」は多岐にわたる項目で回答引き出し。

長時間労働是正、有期・短時間・契約等労働者の雇用安定や処遇改善、65歳までの定年引き上げなど、多岐にわたる項目で回答が引き出されている。

連合北海道が5月10日午前10時時点で取りまとめた回答集計は、以下の通り。

○妥結組合は、エントリー209組合中102組合（昨年同時期139組合）となったが、まだ半数以上の組合が交渉を続けており、今次春闘における交渉の難しさがうかがえる。

○集計可能組合の96組合31,252人における回答妥結額（加重平均）は、5,576円（定昇・ベア込み）、妥結率は2.08%となり、全国平均の5,347円・1.81%を上回った。

○1,000人未満（90組合）の各層では昨年の金額を下回ったが、その9割弱の78組合が定期昇給もしくはベースアップを獲得し、うち29組合は、その両方を獲得している。

厳しい社会情勢ではあるものの、連合北海道は、構成組織及び地域協議会と連携を密にし、「底上げ」「底支え」「格差是正」の実現に向け、最後まで全力で闘っていく。

【組合規模別賃上げ状況 2021年5月10日 連合北海道集計】

組合規模	集計組合数	対象組合人数	加重平均 妥結額 (定昇・ベア込み)	昨年実績額 (定昇・ベア込み)	昨年比
～99人	40	1,763人	3,211円(1.44%)	3,600円(1.62%)	-389円(-0.18)
100～299人	29	5,026人	3,493円(1.53%)	4,331円(1.93%)	-838円(-0.40)
300人未満計	69	6,789人	3,413円(1.51%)	4,093円(1.84%)	-680円(-0.33)
300～999人	21	9,279人	4,416円(1.75%)	5,347円(2.23%)	-931円(-0.48)
1,000人～	6	15,184人	6,997円(2.42%)	6,131円(2.19%)	866円(0.23)
300人以上計	27	24,463人	6,152円(2.22%)	5,841円(2.21%)	311円(0.01)
計	96	31,252人	5,576円(2.08%)	5,447円(2.13%)	129円(-0.05)